

## 研究課題「肝移植後グラフト血流画像解析」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2004年1月1日～2018年1月31日までに名古屋大学医学部附属病院・移植外科で肝移植手術を受け、通院・入院されている患者さんを対象とさせていただく予定です。今回の研究では40名の方を対象とさせていただく予定です。患者さん本人もしくはその保護者の方が試験に参加しない由の意志表示が不可能な場合には、本研究に参加していただくことは出来ません。研究の対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡ください。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

「肝移植後グラフト血流画像解析」の信頼性・有用性の評価を目的とした研究を行います。肝移植後のグラフト肝の血液の流れ具合は、移植された肝臓の働きやその長期経過に大きく影響する非常に重要なポイントです。これまで、その肝臓の血液の流れ具合を詳細に解析することは出来ませんでした。近年になって数値流体力学という技術が発展し、CTやドップラー超音波の画像データから、これまでに解析できなかったような血液の流れの性質が詳細に解析できるようになり、主に心臓や大血管の領域で応用が進んでいます。今回の研究では、この技術を肝移植後の患者さんの通常の日常臨床の中で蓄積されたCTおよびドップラー超音波の画像データに応用し、移植後のグラフト肝臓の血流を解析してその信頼性と有用性を評価することを目的としています。この研究ではカルテより診療情報を取得します。通常診療での画像検査に追加して特別な検査を行うことはありません。収集したデータは個人が特定されないよう連結不可能匿名化を行った後に、名古屋大学移植外科において解析を行います。

今回の研究の実施にあたっては、名古屋大学大学院 医学系研究科 医学部附属病院 生命倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。

この研究が許可されている期間は、平成32年3月31日までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテより下記の診療情報を収集します。

- ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報、肝移植手術に関する情報、等）
- ② 血液所見（血球数・肝機能・凝固機能検査、等）
- ③ 病理学的所見（肝硬変・線維化の有無、等）
- ④ 治療内容（薬剤種類と使用期間、等）

- ⑤ 血流計測データ（カテーテル治療時の圧測定値、超音波測定値、等）
- ⑥ 画像データ（腹部造影 CT、超音波、等）

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者：名古屋大学医学部附属病院・移植外科 病院助教 小木曾聡  
連絡先：〔TEL〕 052-741-2111 メールアドレス：ogiso@med.nagoya-u.ac.jp

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院・移植外科・病院教授・小倉靖弘  
研究代表者：名古屋大学医学部附属病院・移植外科 病院助教 小木曾聡